

## 自動遺伝子解析装置導入によるメチシリン感受性黄色ブドウ球菌血症患者における初期選択治療薬変更期間の短縮効果の検討

この文書は、大分岡病院 薬剤部が実施する研究「自動遺伝子解析装置導入によるメチシリン感受性黄色ブドウ球菌血症患者における初期選択治療薬変更期間の短縮効果の検討」の情報公開を行うものです。この研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 自動遺伝子解析装置導入によるメチシリン感受性黄色ブドウ球菌血症患者における初期選択治療薬変更期間の短縮効果の検討

〔研究機関〕 大分岡病院 薬剤部

〔研究責任者〕 河野大心（薬剤師）

〔研究の目的〕 メチシリン感受性黄色ブドウ球菌（MSSA）菌血症患者を対象に、自動遺伝子解析装置導入前後で、初期治療の広域抗菌薬から標準治療のセファゾリン（CEZ）へ変更されるまでの期間および不要な抗MRSA薬削除までの期間を比較することを目的とする。自動遺伝子解析装置の迅速なMSSA/MRSA鑑別能が、不要な広域抗菌薬の使用期間短縮に寄与するか検証します。

〔研究の方法〕 通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

### 1、対象となる患者さん

2016年10月1日から2020年9月30日（遺伝子検査導入前）および2020年10月1日から2024年10月1日（導入後）において、メチシリン感受性黄色ブドウ球菌（MSSA）という細菌が血液に入り、発熱などの症状が出た患者さんです。

### 2、予定対象症例数 各群 25例

3、調査項目 広域抗菌薬オーダー日、CEZ オーダー日、菌種判明迄の日数、抗MRSA薬削除日、年齢、性別、身長、体重、感染部位、Scr、TDM 件数、薬剤費 28日以内死亡件数、抗菌薬総投与日数、併存疾患

4、調査実施期間 2016年10月1日から2020年9月30日および2020年10月1日から2024年10月1日

〔試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法〕

他の機関への試料・情報の提供はありません。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、カルテ番号など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、新たに符号をつける匿名化を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔患者さんの費用負担について〕

本研究を実施するにあたって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

〔利益相反について〕

この研究は特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

[研究に不同意の患者さんへ]

この研究に同意されない患者さんは、下記までご連絡下さい。  
調査対象から外させていただきます。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

[問い合わせ先]

大分県大分市西鶴崎 3-7-11

大分岡病院 薬剤部 河野 大心

電話 097-522-3131 (病院代表) 平日：午前9時～午後5時

